

デイジー教科書の活用事例 (デイジーによる「読み」の支援)

音声教材の効率的な製作方法等に関する調査研究事業
平成30年(2018年)

公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会

公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会は、平成20年度からボランティア団体等と協力して小中学校の発達障害など読みの困難がある児童生徒にデイジー教科書の製作・提供を行っています

紹介事例－1

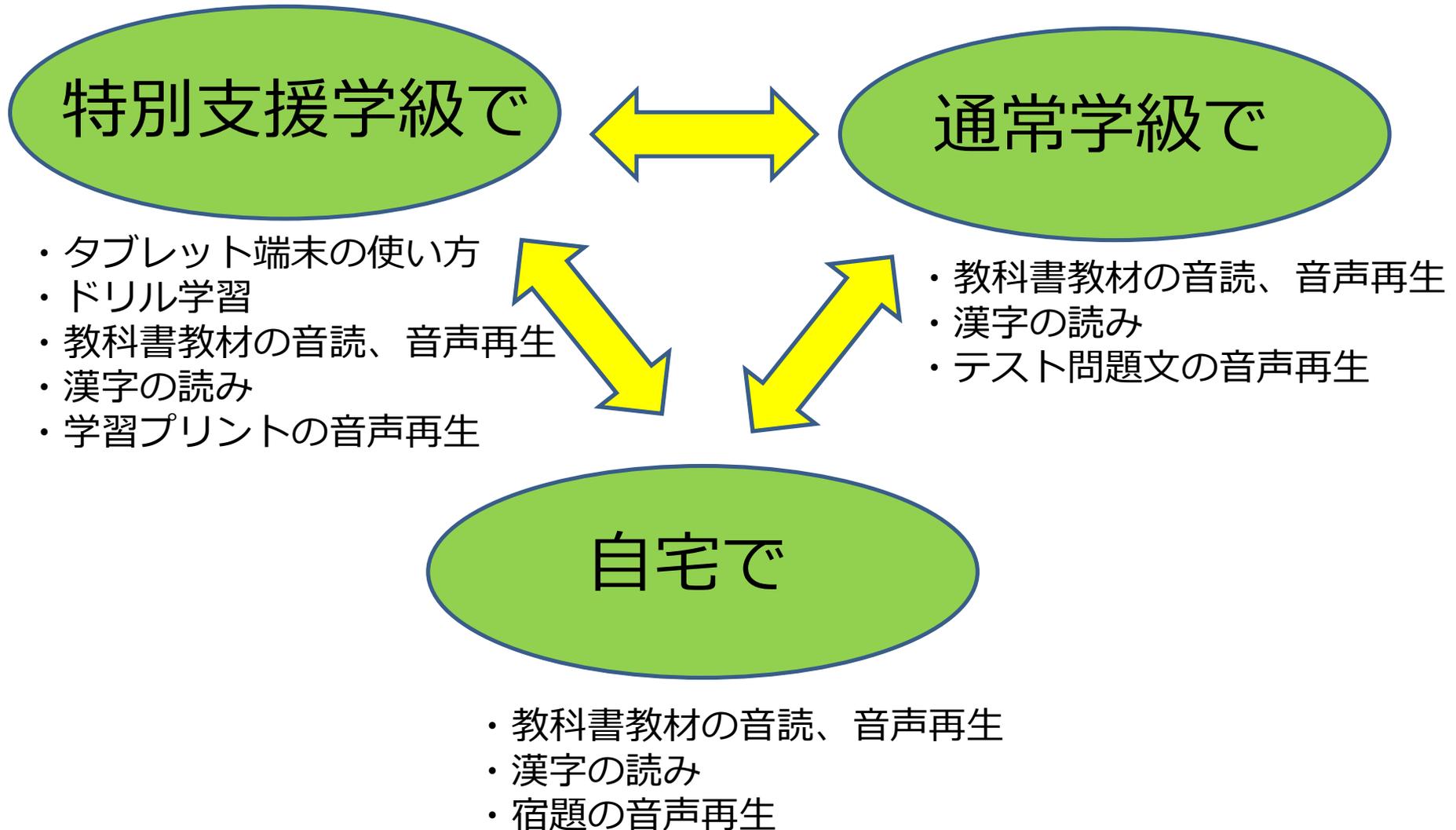
- 長野県上田市神科小学校の活用事例（平成27年度）
 - 全校760名、特別支援学級4クラス
 - 12台のiPadを配置、24名3.2%の児童が使用

資料提供

特別支援学級教諭：池田様

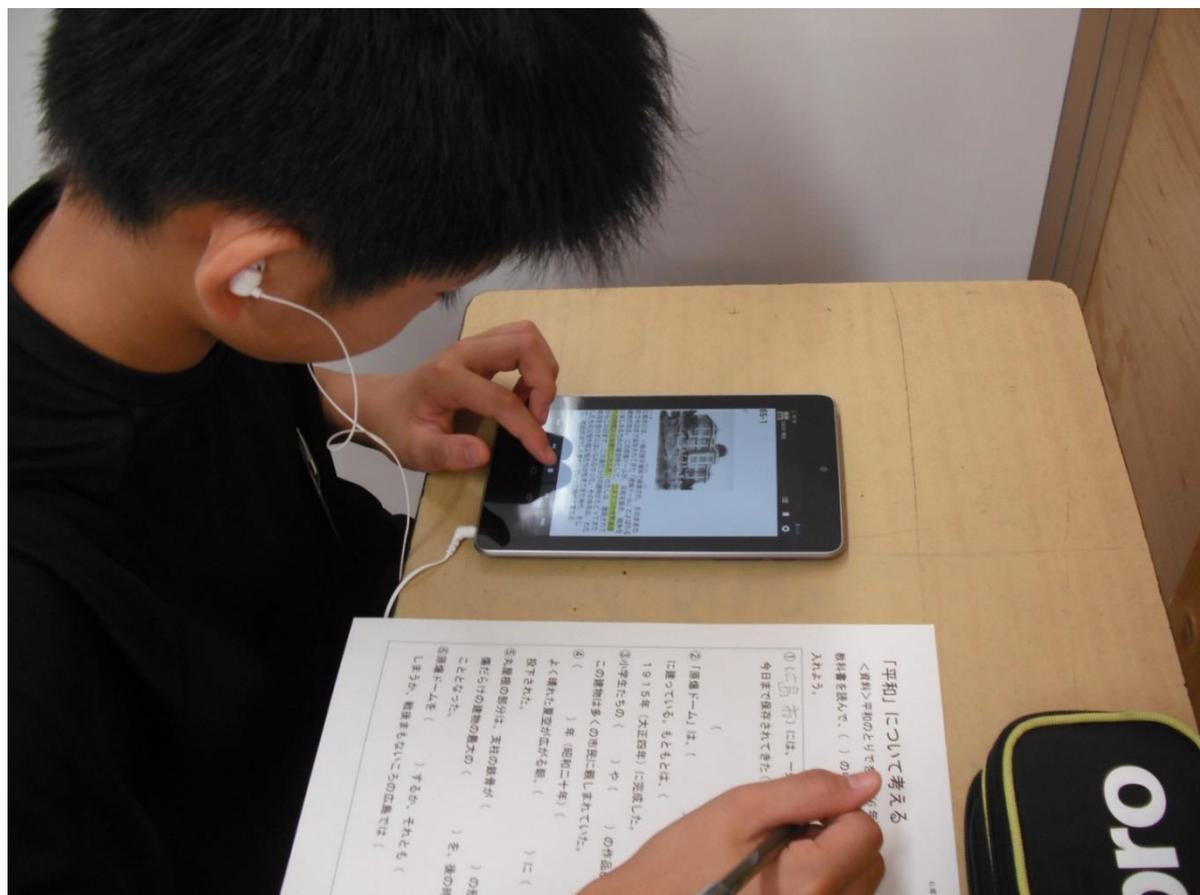
※この発表資料は、平成30年3月23日開催の「デイジー教科書事例報告会」より引用

上田市立神科小学校でのデイジーの使い方



特別支援学級での事例

読みに困難がある児童が、デイジー教科書を使いながら学習プリントの問題を解くことができた事例



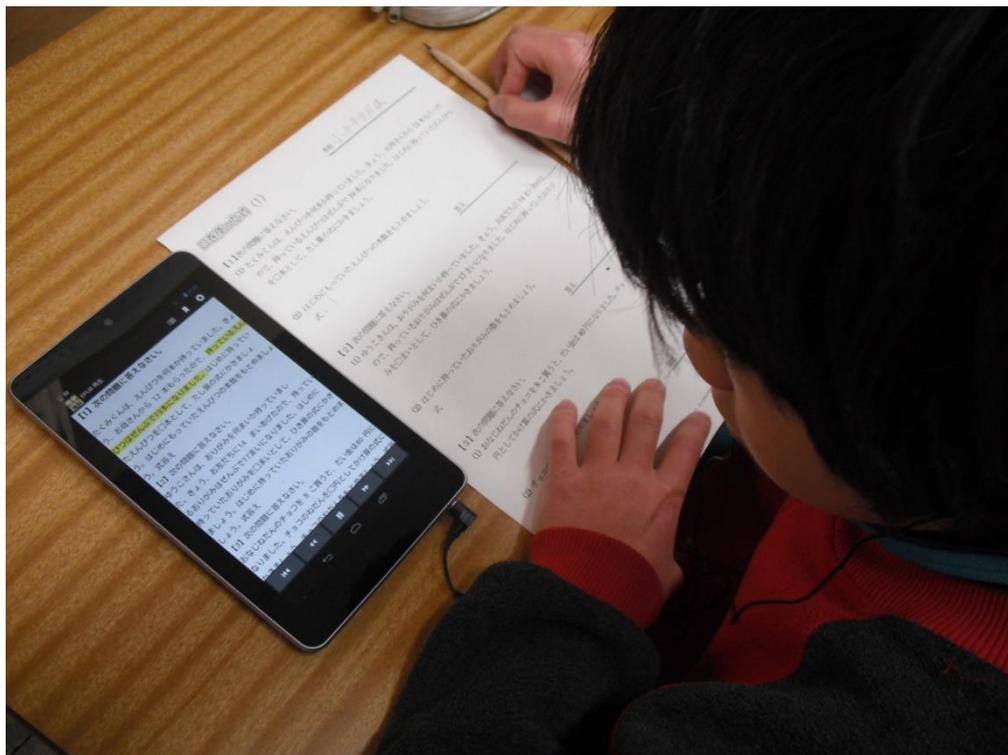
通常学級での事例

自分が音読する番になるとデイジー教科書から再生される音声を聞きながら音読した
(DAISY教科書がなかった時は一緒に音読に参加できなかった)



学習プリントをダイジー化した事例

学習プリントの問題文を製作ソフトで変換してタブレットに読み込ませ、DAISYが代わりに問題文を読む事例

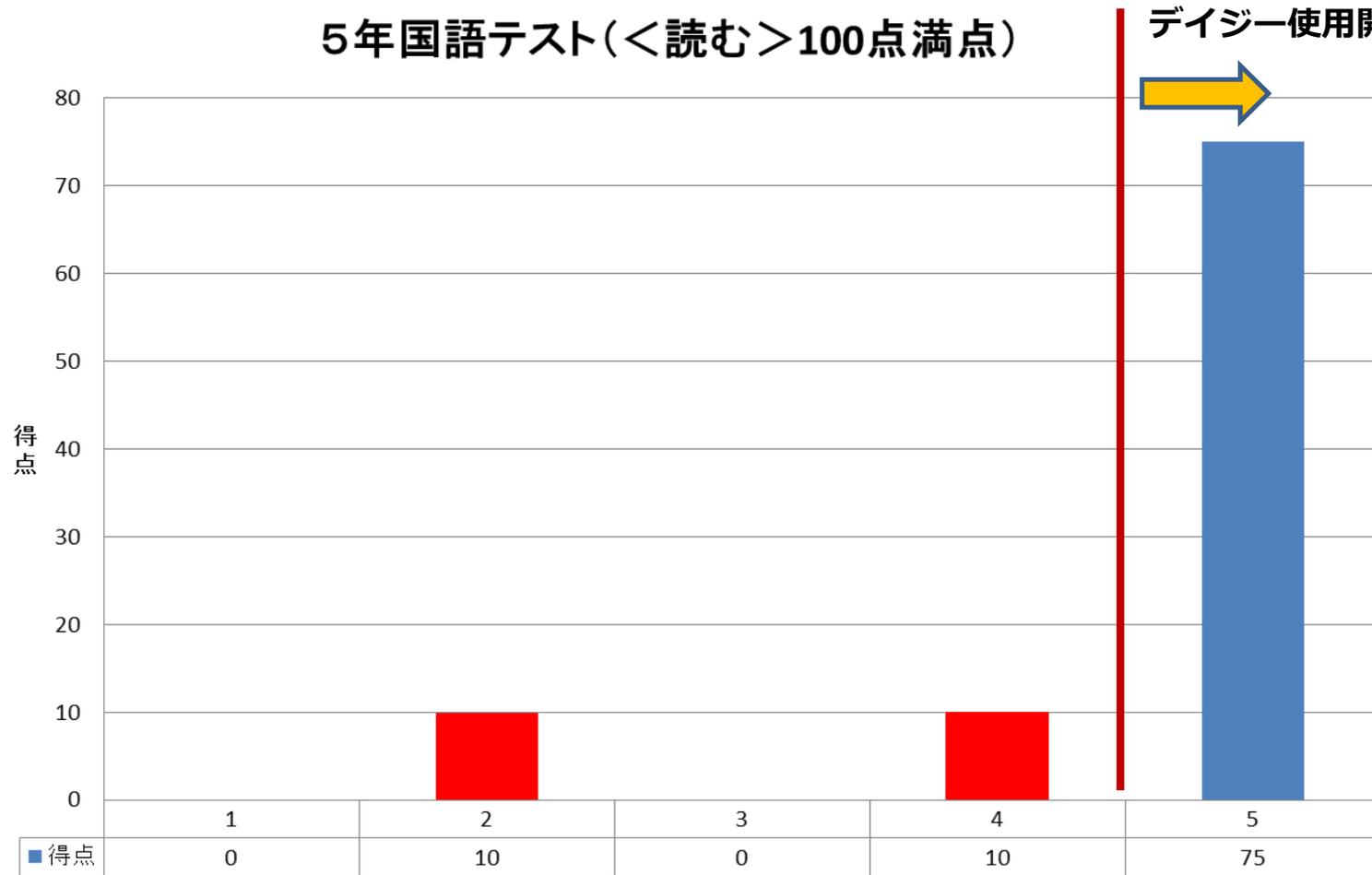


(問題プリントの読み込みからDAISY化まで、所用時間は10分程度で完了)

テスト結果の推移

5年国語テスト(<読む>100点満点)

デイジー使用開始



■ デイジー未使用

■ デイジー使用

<単元名>

1 : 百年後のふるさと
を守る

2 : 次への一歩

3 : 豊かな言葉の使い手
になるためには

4 : 大造じいさんとガン

5 : 千年の釘にいどむ

紹介事例－2

- 大阪市教育局の活用事例（平成29年度）
 - 小学校290、中学校130を対象に一斉導入
特別支援学級数は、小学1,167、中学472
 - 各校にWindowsタブレット40台等を整備

資料提供

インクルーシブ教育推進担当：総括指導主事平岡様

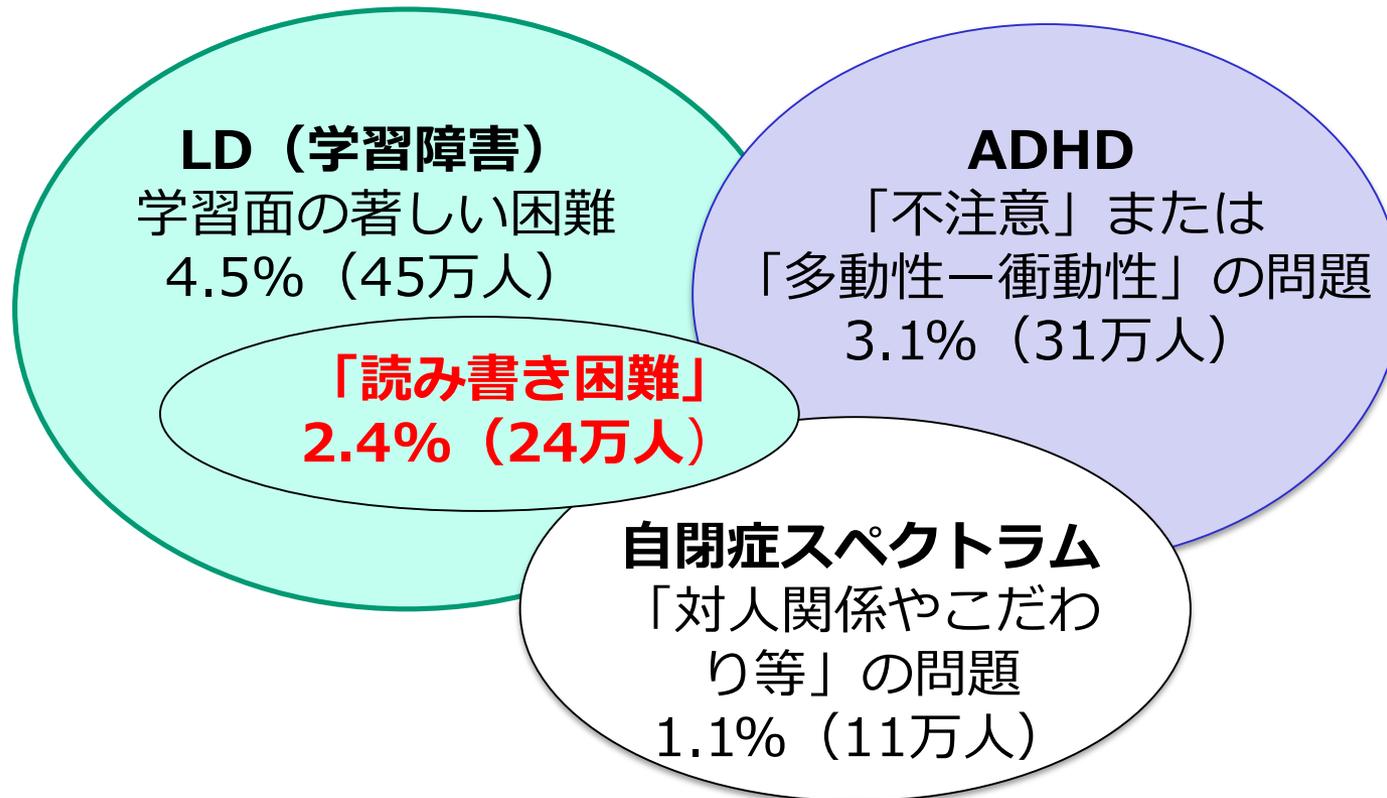
※この発表資料は、平成30年3月23日開催の「デイジー教科書事例報告会」より引用

大阪市におけるデイジー教科書普及促進の取組

- 28年7月：実態把握のための調査を実施
「読みが困難な児童生徒は、どれくらいいますか？」
- 文科省の調査結果の「読み書き困難児童生徒数2.4%」の数と近い人数であることが判明
- 支援策として「デイジー教科書の普及」の取組を開始

文部科学省調査：特別な支援を必要とする子ども

発達障害の可能性のある児童生徒数
全国小中学校の通常学級在籍の約6.5%=65万人



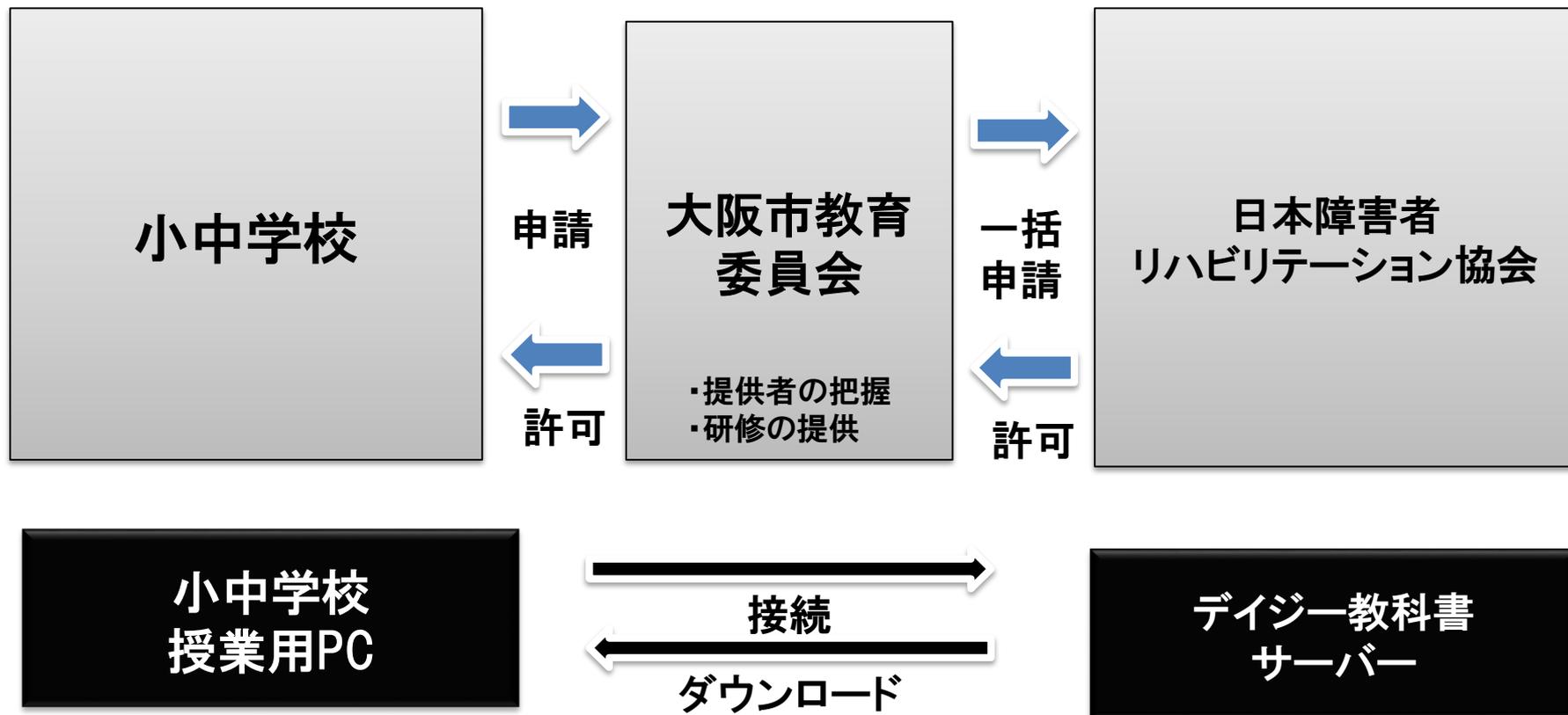
平成24年度12月「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査について」文部科学省初等中等教育局特別支援教育課

文部科学省対応指針：ICT利用に関連する項目

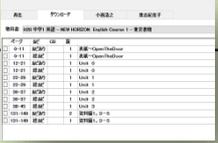
- 子供である障害者又は知的障害、発達障害、言語障害等により言葉だけを聞いて理解することや意思疎通が困難な障害者に対し、絵や写真カード、コミュニケーションボード、タブレット端末等のICT機器の活用、視覚的に伝えるための情報の文字化、質問内容を「はい」又は「いいえ」で端的に答えられるようにすることなどにより意思を確認したり、本人の自己選択・自己決定を支援したりすること。
- 読み・書き等に困難のある児童生徒等のために、授業や試験でのタブレット端末等のICT機器使用を許可したり、筆記に代えて口頭試問による学習評価を行ったりすること。

文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の
解消の推進に関する対応指針（平成27年11月）

大阪市教育委員会が一括申請



マルチメディアデイジー教科書申請の流れ

	申請	許可	ソフトのインストール	デイジー教科書データのダウンロード	その他
小学校 中学校	<ul style="list-style-type: none"> 申請書をインクルーシブ教育推進担当に送付。 (利用者イニシャル、学年) 	<p>③</p> <p>④</p>	<ul style="list-style-type: none"> 管理者権限を使用し、再生ソフト（デイジーポッド3）をインストール 	<ul style="list-style-type: none"> IDとパスワードを活用し、必要な教科・単元の教科書をダウンロード 	
コールセンター（学校ICT事業者）		教員への管理者権限付与	<p>⑤</p>	<p>⑥</p>	
インクルーシブ教育推進担当	申請受理 	<ul style="list-style-type: none"> 申請書を確認後、IDとパスワードを小中学校に付与。 説明書を添付 			<ul style="list-style-type: none"> 研修会実施 年度末評価
リハ協ホームページ			<ul style="list-style-type: none"> 「デイジーポッド3」 「デイジーポッドジュニア3」 		
教科書提供サーバー（リハ協）					

- 小学5年男児
 - 入学直後から読み書きが苦手のため、学習が遅れはじめる。
 - 4年生のとき、医師の診断を受ける。
 - STRAW-R
 - 漢字の音読の正確性
 - カタカナの音読の正確性
 - 音読の流暢性
- に課題がみられた

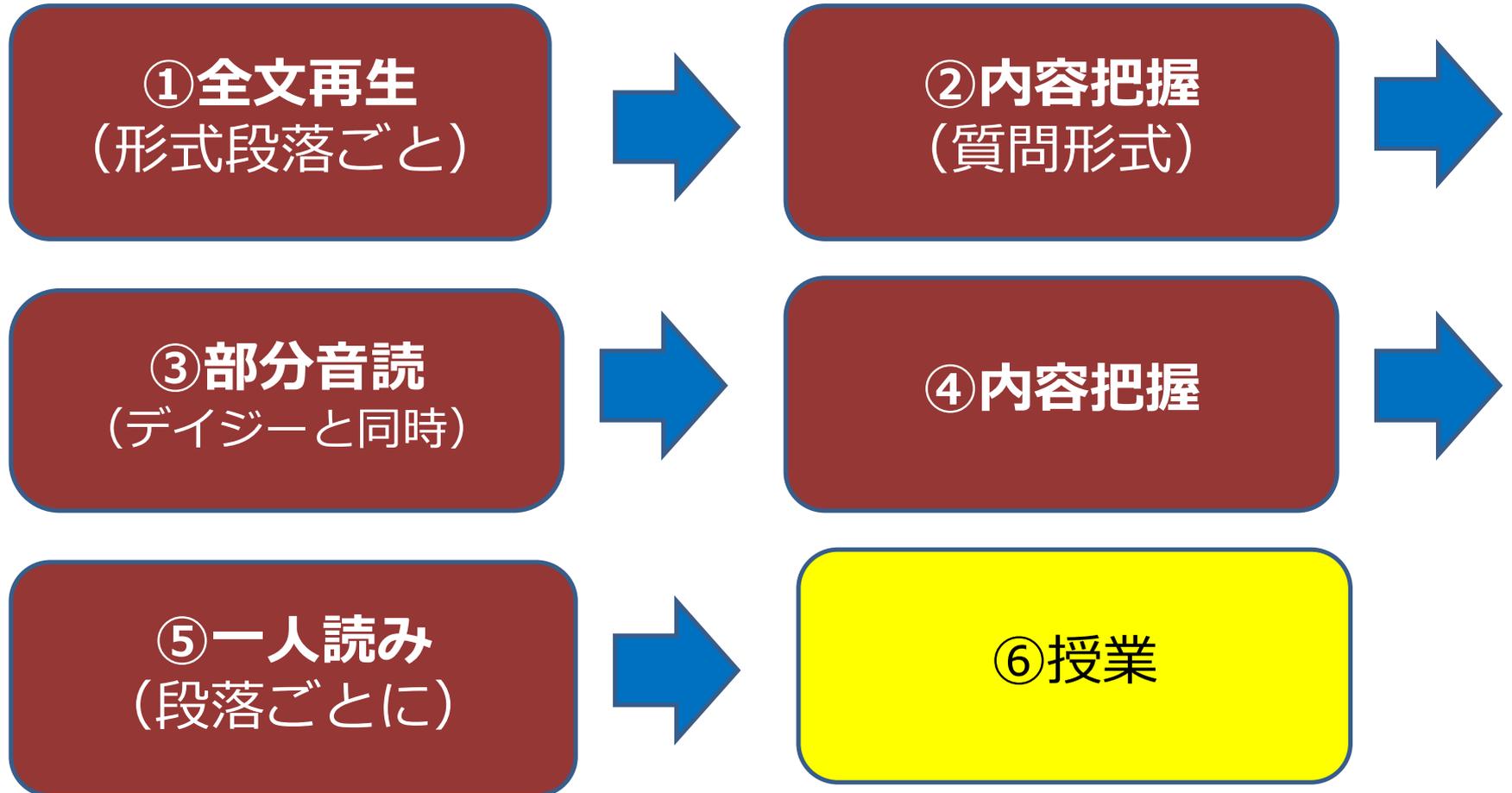
学習スケジュール

国語 『注文の多い料理店』				
1回目	9/2	1(水)	放課後	16:00~16:30
2回目	9/2	5(月)	放課後	16:10~16:30
3回目	9/2	7(水)	放課後	16:10~16:30
4回目	9/2	8(木)	放課後	16:10~16:30
5回目	10/	6(金)	放課後	16:00~16:30
6回目	10/1	0(火)	放課後	15:30~16:00
7回目	10/1	6(月)	放課後	15:30~16:15
8回目	10/1	8(水)	昼休み	13:15~13:45

活動スケジュール

- 時間：放課後
- 場所：児童が下校した後の教室
- 指導：特別支援学級担当の教員
- 教科：主に国語（授業が始まる前の段階）
- 目的：内容理解
- その他：デイジー使用日は、音読の宿題はなしにする。

デイジー教科書【指導の流れ】



- 文章の理解度が上がった。
- 読むことへの抵抗感が減った。
- 文のまとまりで、読めるようになってきた。
- 漢字が読めるようになった。
- 授業のときにも、すらすら読めるようになってきた。

平成28年度

① 7月7日

読み書きに障がいのある児童とデイジー教科書の活用

② 1月13日

「デイジー教科書・図書を活用してみよう」
－ 入手方法と実践事例 －

平成29年度

① 5月10日

マルチメディアデイジー教科書の活用について その目的
と導入方法

② 11月15日

マルチメディアデイジー教科書の活用について その実際
と実践報告

小中学校 94校

児童生徒数 458名

小学校

- ・自信を持って、音読ができるようになった。
- ・単語のかたまりがわかるようになった。
- ・一文字ずつ 読むことが減った。

中学校

- ・自ら教科書を開く意欲が出てきた。
- ・教科書の内容の理解がすすんだ。



- 教員が簡単に活用でできる方法
 - どのPCでも利用できる
- 活用方法にかかる実践事例収集
- 活用した児童生徒の効果検証用
- 年度更新の方法